

松任市のページ

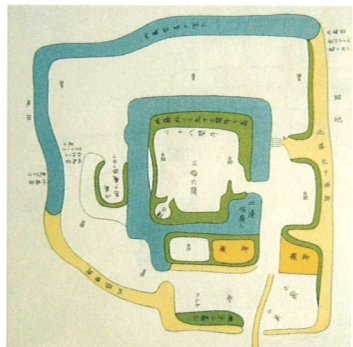
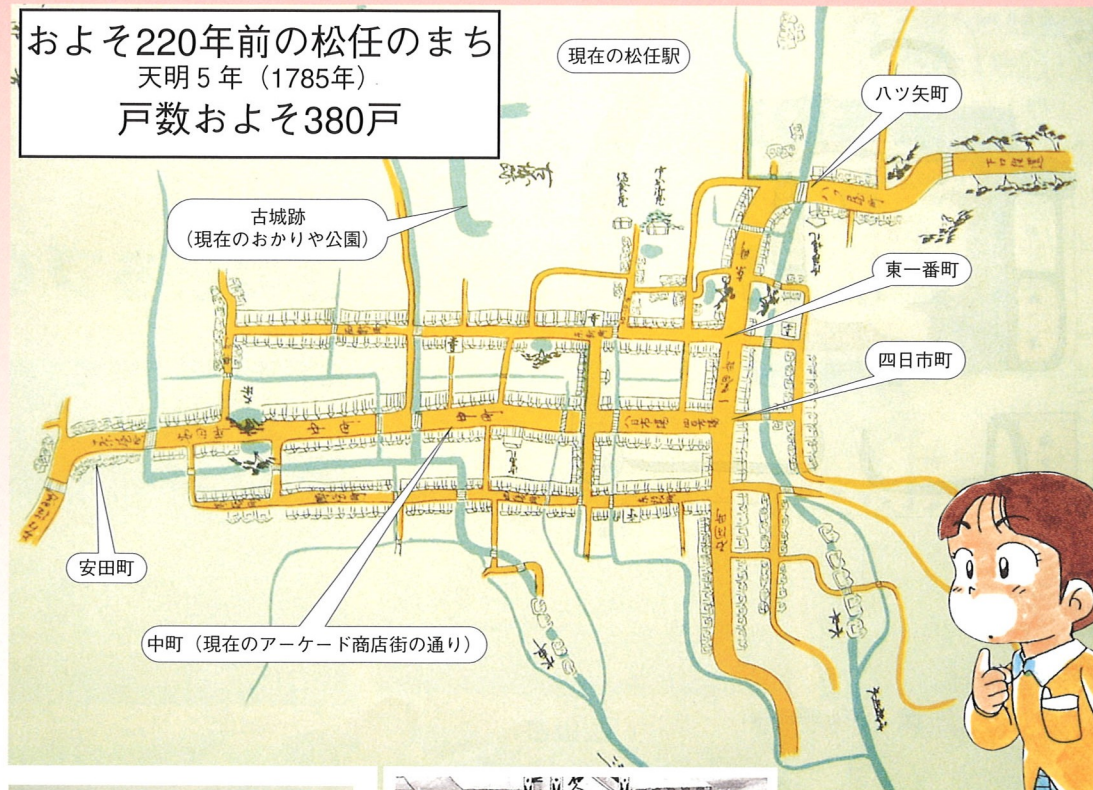
1. 松任のまちの歴史
2. まちの歴史をさがしてみよう
3. これからのまちづくり
4. 自然と調和したやすらぎのまちづくり



1. 松任のまちの歴史

(1) いまの松任市のもとができたころ

今から500年ほど前にはすでに町なみができていたようですが、江戸時代に入って、加賀藩の米ぐらが置かれるなどして家の数がふえ、金沢平野の産業、経済、文化の中心地のひとつとして発展し、今の松任の町なみのもとができました。



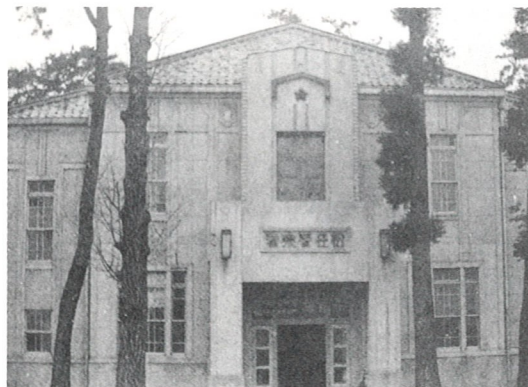
▲松任古城図
天保2年(1831年)



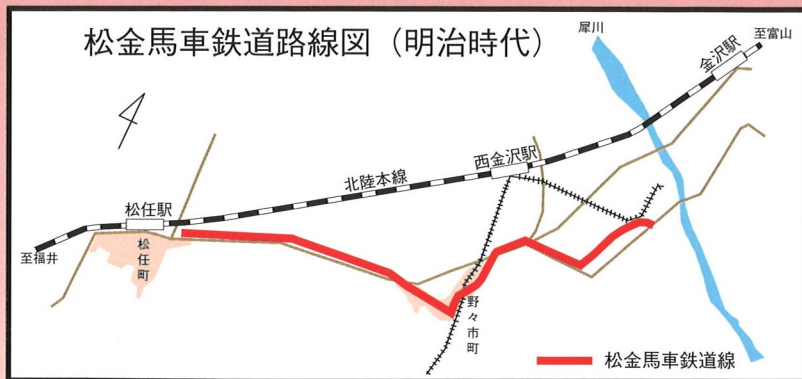
▲まちのにぎわいのようす

(2) 侍の世の中がおわると…

明治時代になると、学校や警察署、郡役所など多くの施設がつくられ、少しずつ町が整備されてきました。また、北陸本線松任駅や金沢と松任をむすぶ馬車鉄道が誕生したのもこのころです。



▲明治はじめころの警察署



およそ100年前の松任
 明治41年（1908年）
 戸数およそ1,190戸
 人口およそ6,900人
 （松任の中心部）

約100年前に、松任と金沢の間を
 国道にそって、鉄道馬車が走り
 はじめました。

それまでは、人力車や馬車が
 おもな交通手段だったようです。



▲馬車鉄道跡をしめす石碑
 ハツ矢町100-2におかれて
 います。



▲北国街道ぞいを走る馬車鉄道
 のようす



▲当時の松金馬車鉄道ハツ矢駅

（3）現在の松任

松任町を中心に周辺の村とがっぺいし、1960年代に入り、松任の人口はどんどん増加して3万人をこえました。その後、1970年（昭和45年）に、石川県で8番目の市として、松任市が誕生しました。松任市の人口は、1992年（平成4年）には6万人をこえ、さらに今後も人口が増加していくことが予想されています。



▲新しい市街地（千代野ニュータウン）

千代野ニュータウンは、松任駅から西へ
 およそ2kmいったところにあり、その周辺
 はしずかな田園地帯となっています。

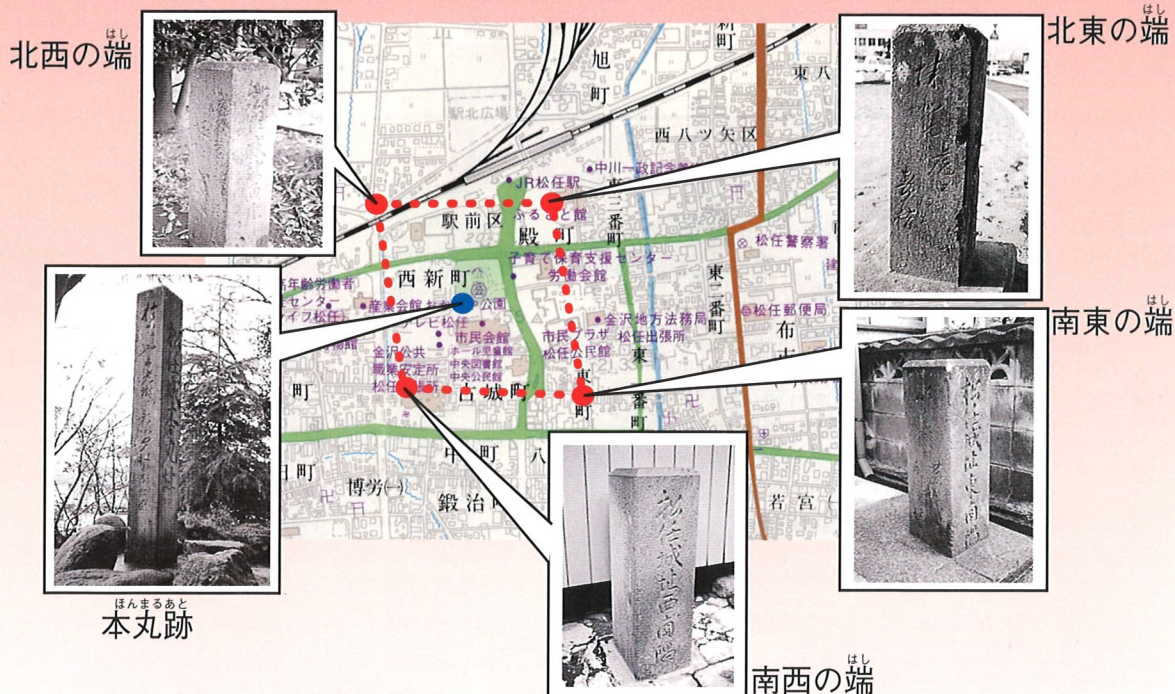
石川県でもっとも大きな住宅団地で、家
 の数はおよそ2,000けんもあります。

2. まちの歴史をさがしてみよう

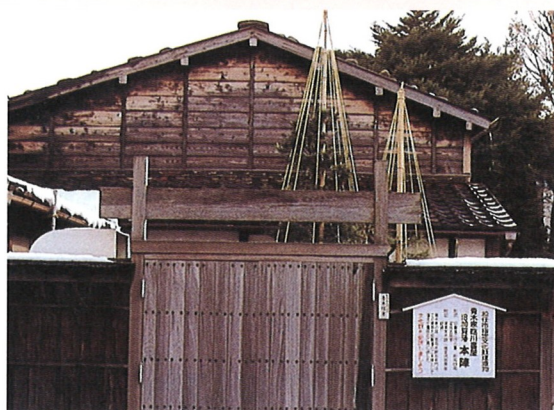
松任は長い時間をかけて発展してきました。松任のまちを歩くと、まちの歴史を伝える古いものがたくさん残っています。

わたしたちのまわりには、どんなものが残っているのでしょうか。

(1) 松任城の大きさ



(2) 臨川書屋 (加賀藩松任本陣址)



江戸時代、殿さまなど、身分の高い人たちがとまった宿です。

建物のつくりなどから、当時の豪華さがわかります。

(3) 火よけ地跡



江戸時代、密集していた松任の町なみの中に、火災延焼をふせぐための場所をもうけました。そこには貯水池や、旅人のための休けい所があったそうです。

現在、東一番町にある跡地には、地下に防火水そうがあり、今でも住民にとって大切な場所となっています。

3. これからのまちづくり

緑豊かな自然は、人々の心にうるおいとやすらぎを与え、生活をより豊かで快適なものにしてくれます。新しいまちをつくっていく際には、松任の田園風景^{でんえんふうけい}がもつゆとりとうるおいを大切にしながら、にぎわいのある中心市街地と周辺の地区とのつながりを強め、バランスのとれた魅力のあるまちづくりを進めていくことが大切です。


【松任海浜公園】
海岸・公園・高速道路が一体となったうるおいの空間



【北部・旭工業団地】
恵まれた自然かんきょうの中で、たくさんの人が働いています。



【総合生涯学習施設】
まちの中心部にあります。図書館などがあります。(平成14年完成)



これからの松任のまちをみんなで考えていきたいね！



【石川ソフトリサーチパーク】
周辺の環境と調和した新しい産業団地



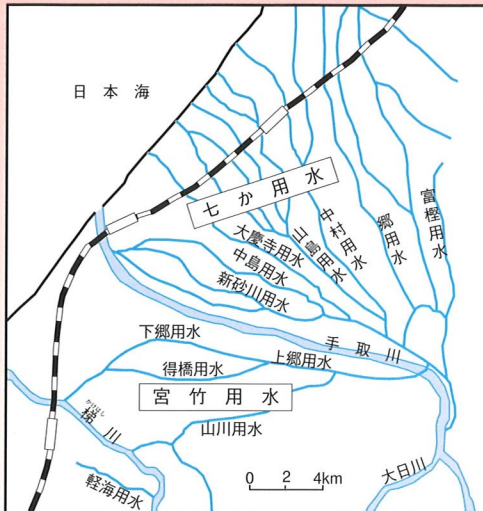
【山島台ニュータウン】
建物の高さや色、生垣^{いけだ}をすることなど住む人たちのとりきめで、美しいまちなみになっています。




4. 自然と調和したやすらぎのまちづくり

松任市は、手取川扇状地の中心部にあり、かつては手取川が自由に流下していた土地でした。そうしたことから、現在も放射状に用水がたくさん流れており、水田をかんがいし、春から秋にかけて、水をたたえた水田の中で、市街地や集落が、島のように散在する風景がみられます。

このように松任市全体を、四季の変化豊かな庭園としてとらえ、人と自然がふれあえ、自然と調和したまちづくりをすすめていくことが大切です。



▲今の用水
金沢平野は米づくりがさかんな地域であり、平野には、手取川と多くの用水があります。



▲松任海浜公園にある風車
自然の風を利用して電気をおこして、公園に必要な電気をまかなっています。
発電量は、およそつうの家庭の30けん分になります。

▼自然とのふれあいを楽しむ
「山島水親水ロード」
用水をいかし、遊歩道を整備した例



わたしたちも、自然を大切に
にしたまちづくりを考えてい
きたいね！

